

土地改良事業計画書

1. 目 的

本地区の水路を整備することにより農業の振興、農業用水の安定供給と集落及び地域の活性化を図る。

2. 地域、地籍及び現況

(1) 所 在 三豊市豊中町本山甲 地内

(2) 地 積 受益面積 0.9 ha 関係戸数 10 戸

(3) 現 況 当地区は、三豊市豊中町本山甲の中央部に位置した、水田地帯である。水稻が中心の営農であり、地区の水路は、主要幹線水路であるが老朽化が著しく、勾配不均整な上、劣化が顕著に現れるなど、円滑な配水に苦慮している。併せて、大雨時等には排水にも支障をきたしている。

3. 一般計画

- ・ 本地区の1戸当たり平均耕作面積は、9アールで土地が分散しているため、生産基盤が未整備である。
- ・ 水路の整備をすることにより、地域農業の振興と生産性向上のため、維持管理の軽減を図る。
- ・ 県道本山停車場線と宮川とに囲まれた水田地域であり、緑豊かな田園地帯であることから、周辺の環境に配慮した整備とする。

4. 主要工事計画

(1) 水路延長 19 m 起点：三豊市豊中町本山甲1266-1

終点：三豊市豊中町本山甲1265-1

(2) 水路断面 $B = 0.4 \text{ m} \times H = 0.6 \text{ m}$

(3) 構 造 自由勾配側溝 400*600型

5. 付帯工事計画

該当なし

6. 工事の着工及び完了予定期間

着 工 令和8年9月15日

完 了 令和9年2月25日

7. 環境との調和への配慮

本地区における環境との調和への配慮は、自然の生態系を保全しつつ、農地の持つ多面的機能や自然環境を維持するよう整備を進める。

8. 本施設の維持管理

本施設の維持管理については、豊中町土地改良区において管理する。

9. 事業費の総額及び内容

(1) 事業に要する費用

区 分	金 額 (千円)	備 考
工 事 費	2,343	
用地買収補償費	-	
測 量 試 験 費	257	
工 事 雑 費	-	
事 務 費	-	
計	2,600	10a当りの事業費 288,889 円

(2) 資金計画

区 分	金 額 (千円)	備 考
補 助 金	国 補 助 金	-
	県 補 助 金	1,430
	市 補 助 金	910 事業費の35%
	小 計	2,340
地 元 負 担 金	受益者負担金	260
	借 入 金	- 農林漁業資金利率 償還期間 賦課基準
	小 計	260
計	2,600	

10. 事業効果

区 分	金 額 (千円)
作 物 生 産 効 果	298
維持管理節減効果	109
走行費用節減効果	0
そ の 他	-
年 総 増 加 額 計	407
廃 用 損 失 額	-

n : 20 総合耐用年数
 T : 1 事業着手から効果発生年数
 i : 0.04 割引率
 資本還元率 : $i(1+i) / (1+i)^{n+1}$
 建設利息率 : $0.1 \times 0.4 \times 0.065 \times T$
 農家負担率 : 0.1

$$\begin{aligned}
 \text{妥当投資額} &= \text{年総増加額計} \div [\text{資本還元率} \times (1 + \text{建設利息率})] - \text{廃用損失額} \\
 &= 407 \div [0.0736 \times (1 + 0.0026)] - 0 \\
 &= 5,514
 \end{aligned}$$

$$\text{投資効率} = \text{妥当投資額} \div \text{総事業費} = 5,514 \div 2,600 = 2.12$$

※投資効率の基準値は1.00以上とする。

11. 計画図

(1) 位置図

別紙のとおり

(2) 平面図

別紙のとおり

(3) 標準断面図

別紙のとおり

事業主体	豊中町土地改良区			作 付 状 況 及 び 計 画	
地区名	屋敷内	地区		現 況	計 画
事業費	2,600	千円	表	0.6	0.6
工種	水路		裏	0.3	0.3
工事延長	19	m	果樹・工芸作物	0.0	0.0
受益戸数	10	戸	チェック表	OK	OK
受益面積	0.9	ha		OK	OK
内樹園地		ha		OK	OK
維持管理費	1,000	円/10a			

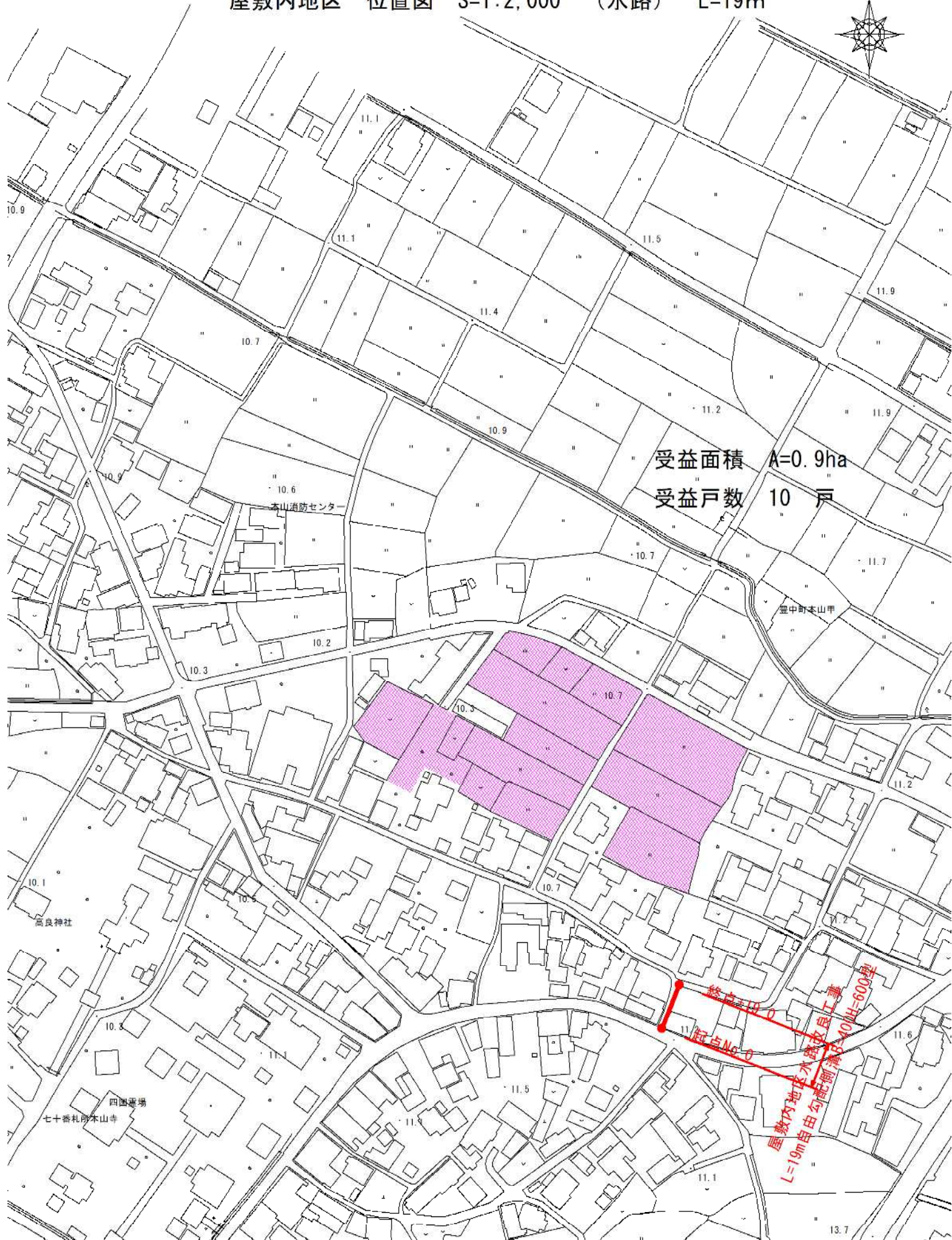
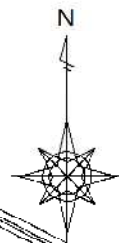
※但し①現況水稻の作付け率は受益面積の6割以内で0.5ha以内の作付けとする。
②作付現況及び計画は表・裏共受益面積を超えて計画出来ない。
③水稻の作付けは現況を増やすことは出来ない。
④チェックでコメントが出ると作付状況を見直す。

番号	表・裏	作物名	現況	計画	増△減	増加純益額	増加純益額	増加純益額	効果要因
			① ha	② ha	③=①-② ha	④ 円/10a	円	(合計) 円	
1	表	水 稲	0.5	0.5	0.0	56	0	0	②×④干害防止効果
						166,104	166,000		
2	表	きゅうり	0.1	0.1	0.0	167,929	0	166,000	②×④田畑輪換
						414	0		③×④作付面積増
3	裏	はだか麦	0.0	0.0	0.0	405	0	0	②×④田畑輪換
						44,192	132,000		③×④作付面積増
4	裏	ブロッコリー	0.3	0.3	0.0	43,704	0	132,000	②×④田畑輪換
						50,760	0		③×④作付面積増
5	裏	だいこん	0.0	0.0	0.0	49,632	0	0	②×④田畑輪換
							0		③×④作付面積増
							計	298,000	

[illegible]

令和8年度 単独県費補助土地改良事業（一般）

屋敷内地区 位置図 S=1:2,000 （水路） L=19m



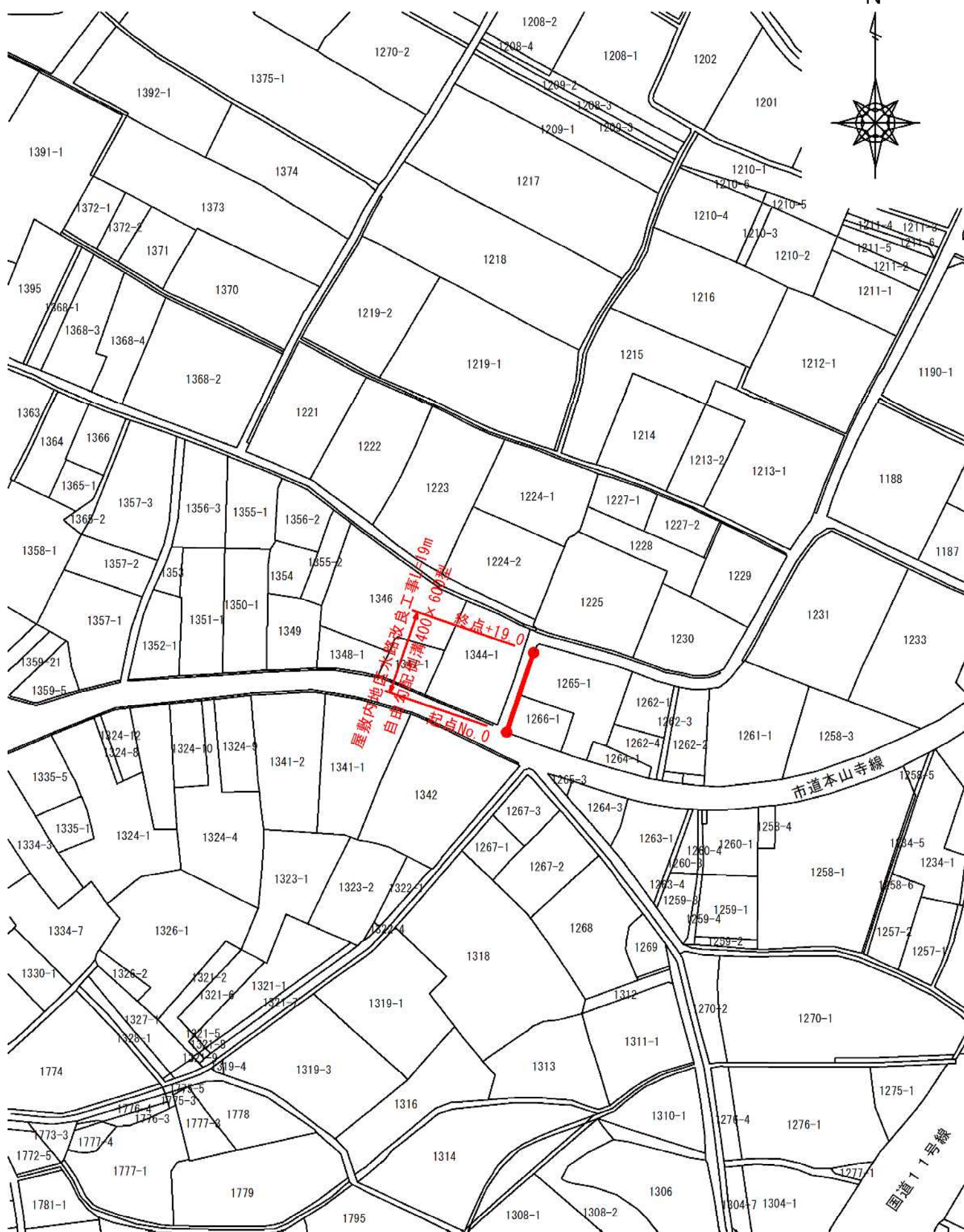
受益面積 A=0.9ha
受益戸数 10戸

終点No.0
起点No.0
屋敷内地区水路改良工事
L=19m毎由勾配調整(10H=600型)

単独県費補助土地改良事業（一般） 計画平面図

S=1:1,000

屋敷内地区（水路） L=19m



令和8年度 単独県費補助土地改良事業（一般）

屋敷内地区（水路） $L=19\text{m}$



横断面図

S=1 : 50

